

A 「対象とする企業」と「海外進出方法の分類」

「海外市場開拓のための生産拠点」、「海外他社との提携」

B 中小企業にとって海外進出をすることの利点

「国際的な視野と洞察力」、異文化・異市場対応能力が身につく

「変更」に左右されるリスク → 海外市場の多様性によって軽減

「現地の技術やビジネスのノウハウやマーケット事情に触れる機会」が広がり → 競争優位性の向上

C 輸出と海外直接投資による生産拠点との比較におけるメリットとデメリット

D 進出展開と進出手段の選択進 → 海外進出方法の展開の理論

(1) 「輸出」から「海外直接投資」への展開

成熟段階 → 複数の「生産立地」

(2) 「ライセンス供与」の展開

(3) 「内部化」への展開

所有、内部化、「海外立地」の三つの優位性要素に基づく「進出方法の決定」